

K O Σ M O Σ

Vol. 13, No. 2 (No.41)1978. 7. 1

巻頭言	1
夏休み貸出日程	2
本学に学んだ人々	3
投書箱から	4
東洋大学紀要の 誌名変更について	5
参考図書解題	6
学生購入希望 日誌(53年3～6月)	7 8



日・米大学生の読書量 比較とその進路

犬 田 章

5月中旬、NHK教育テレビ日曜夜の番組「若い広場」で、日本に留学中のアメリカ大学生とのインタビュー「大学生生活、アメリカと日本」は、世相をもよく反映しており、大変興味深かった。アメリカでも、そろそろ好況が終りに近づき、大卒者の就職が一段と厳しくなり、どこの大学でも図書館が満員の盛況だという。図書館をよく利用する学生ほど就職合格率が高いという実績がすでに確立しているとの事で、これはそっくり不況下の日本にもあてはまるのではなかろうか。

私は、毎年学年始め初回の授業で、アメリカ大学生が、一科目約2000ページの参考書(本学でいう指定図書)を読むことを義務づけられるリーディング・アサインメントの制度を紹介するが、日本とアメリカとで年間履習科目数はほぼ同じ8科目(アメリカでは前・後期各4科目)であり、一日当たり50ページの読書が要求され、学業の主体は、学生が自分で本を読み、予習・復習を行なって、教師が一人一人の学生について進捗度をチェックする仕組みとなっている。一週間溜めると、350ページ分を休日にも読破せねばならず、毎日が相当の負担である。しかし、大学生が社会に出て毎日取組む仕事は、実務・研究を問わず、大洪水のごとき情報を片端しから消化・処理することで、最近の就職試験は日本でも多枝選択式が流行し、平均180分間に60問出題され、問題自体が極めて長文で、何よりも速読力が要求される。国際会議・学界に度々私も出席したが、予め送付されたペーパーに加え、連日200ページ以上の欧文資料が配布され、パーティ等と重なって眼を通すだけの時間もない位であった。

日本では、講義録風の親切な参考図書が少く、一日50ページをこなす前提が整わない面もあるが、読書量に比例して、書く能力・話し方が上達する一挙何得かがあり、万事はトレーニングの積み重ね如何で成否が決る。私は本年4月に図書館の一員(図書館朝霞分館長)となり、本学の研究水準がより高く、就職率も向上するよう図書館のより一層の充実を望んでいる。

(経済学部教授)

夏休み貸出日程

月/日	曜日	白山図書館	朝霞分館	川越(工)分館
6/28	水			
29	木			
30	金		①貸出し期間	
7/1	土			貸出し期間
2	日	閉館日		
3	月			
4	火	④貸出し期間		
5	水		①貸出し期間	貸出し期間
6	木			
7	金	⑤貸出し期間		
8	土			
9	日	閉館日		
10	月	⑥貸出し期間	①貸出し期間	夏季休暇開始
11	火			閉館日
12	水	夏季休暇開始		夏季休暇終了
13	木			貸出し期間
14	金	⑨貸出し期間	①貸出し期間	
15	土			
16	日	閉館日		
17	月			
18	火			
19	水	⑩貸出し期間	①貸出し期間	貸出し期間
20	木			
21	金			
22	土			
23	日	閉館日		
24	月			
25	火			
26	水	⑪貸出し期間	①貸出し期間	貸出し期間
27	木			
28	金			
29	土			
30	日	閉館日		
31	月		①貸出し期間	
8/1	火			貸出し期間
2	水	⑫貸出し期間	②貸出し期間	
3	木			
4	金			
5	土			
6	日	閉館日		
7	月			
8	火			
9	水	⑬貸出し期間	②貸出し期間	
10	木			
11	金			
12	土			
13	日	閉館日		閉館期間
14	月			
15	火			
16	水	⑭貸出し期間	②貸出し期間	
17	木			
18	金			
19	土			
20	日	閉館日		
21	月			
22	火			貸出し期間
23	水	⑮貸出し期間	②貸出し期間	
24	木			
25	金			閉館日

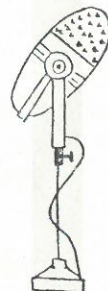
月/日	曜日	白山図書館	朝霞分館	川越(工)分館
26	土			
27	日	閉館日		
28	月			
29	火		②貸出し期間	貸出し期間
30	水	⑧貸出し期間		
31	木		③貸出し期間	閉館日
9/1	金			
2	土			
3	日	閉館日		
4	月			
5	火			貸出し期間
6	水	①貸出し期間	③貸出し期間	
7	木			閉館日
8	金			夏季休暇終了
9	土			
10	日	閉館日		
11	月			前期授業再開
12	火	①貸出し期間	③貸出し期間	
13	水			返却期間
14	木			
15	金			敬老の日
16	土	夏季休暇終了		返却期間
17	日	閉館日		
18	月	④返却日	①返却日	返却期間
19	火	⑤返却日	②返却日	
20	水	⑥返却日	③返却日	
21	木	⑦返却日		貸出し冊数
22	金	⑧返却日		白山 一般学生 3冊
23	土			大学院生(卒論用) 5冊
24	日	閉館日		朝霞 5冊
25	月	⑨返却日		川越(工) 制限なし
26	火	⑩返却日		開館時間は、後で掲示します。
27	水	⑪返却日		④期間中に貸りた方は④返却日に他も同様にして下さい。
28	木	⑫返却日		

視聴覚室からのお知らせ

「午前中における個人利用の実施について」

当室では、午前中の時間を団体利用に当ててきましたが、件数が少ないことや、午前中の個人利用を望む声が多いことから、今後は下記の要領で実施します。

1. 従来どおり a.m. 9 : 30 ~ 12 : 00 の時間には団体利用ができます。(申込は前日までに)
2. 団体利用のない日に限り、a.m. 9 : 30 ~ 11 : 30 の時間に、ヘッドホンによる個人利用ができます。(入口にプレートで指示します)



田 中 敬——図書館界の大先達

山 内 四 郎

著名な図書館学者、書誌学者である田中敬氏は明治13年兵庫県に於て出生している。本学大学部第二科(支那哲学科)を卒業したのは、明治41年3月であるからすでに数え年29歳になっており、比較的晩学であると言えよう。翌42年3月には研究科も卒業し、4月より沢柳政太郎氏の助手として『中学修身書』の編集に携っている。沢柳氏は、明治44年3月に東北帝国大学の初代総長に就任しているが、それを追うようにして5月に同大学の雇となり、図書館員としての生涯の第一歩を進めるのである。当時の東北大は、医科大学と理科大学のみであり、田中氏は理科大学の図書館の担当者であった。後の氏の研究の内容を知る者にとって、出発点が理科系の大学図書館員であった事は意外であろう。

その職務に対する態度は誠実そのものであり、部下に対しては周到厳格であり、目録カードの作成をはじめ、捺印の方法に至るまで手を取るように教え込んだという。

大正5年6月に同大学の司書となり、翌々7年に処女作『図書館教育』(019:TK)を刊行している。これは氏の教育学、心理学の造詣の上に欧米の図書館活動を紹介し、図書館の教育面に於ける任務に及び、図書館学成立の可能を論じ、開架図書館の効用を論ずるなど、図書館文献史上注目すべきものであるといわれている。大正12年3月には、東北大の書記に任ぜられ、同年4月には司書官を兼任している。翌13年に著名な『図書館概論』(020:TK)を著わしている。この書は、後に学位申請論文を提出したさいに、図書館学未だの総合的発表を遂げたと評価された著述であり、図書館学という用語そのものも氏の独創であると言われている。本日に於ては書替の必要もあろうが、和・漢・洋における書写・印刷・書写材料・図書館の形態等に亘る浩瀚な著述である。14年6月には書記を免ぜられて司書官専任となっている。

次いで昭和7年に『粘葉考』(022.5:TK)を著わしている。装丁の用語である粘葉(蝴蝶装)と大和綴(綴葉)とが混用されている事実に眼をつけ、これの闡明と峻別する事を目的で書かれている。これは、和漢の文献を駆使し、各収蔵機関に於て実物に当たっての実証的な研究である。また、本書の装丁のものにも、究明した兩種を用いるなど、さすが図書館学者であると感じさせられる趣味豊かな図書である。翌8年に『汲古随想』(020.4:TK)を刊行している。本書は、主として東西の図書に関する論文、随筆などを集録したものであり、すでに雑誌などに発表したものもあるが、このさい書下したものもある。これも全3冊袋綴(線装本)帙入りといった、氏の装丁に関する並々ならぬ関心をうかがわせるに足るものである。

この昭和8年は氏にとって転機の年である。明治44年以来23年になんなんとする東北大を辞(依願免本官)し、草創間もない大阪帝国大学附属図書館の事務嘱託となっている。この間の経緯について、3月25日辞任という时期的な異常さを併せ考えれば、何程かの事情が存在したようである。11年6月に大阪大の附属図書館事務係長となっている。14年に『和漢書目録法』(014.3:TK)を著わしている。これについては、今沢慈海氏(図書館雑誌第33年第11号)天野敬太郎氏(図書館雑誌第34年第3号)の詳細な批評、紹介があるのでそれに譲らせてもらう。

教職について述べると、大正3年より青葉女学院兼任講師(心理学、教育史担任、図書室主任、昭和8年3月迄) 昭和23年4月より、京都大学兼任講師(図書館学担当、25年3月迄) 昭和26年4月より、奈良学芸大学兼任講師(図書館学担当) 昭和25年6月に大阪大学を辞し、7月に近畿大学の図書館事務嘱託となり、同年10月に図書館長に就任している。

学位論文は、本学に提出した『図書形態学と、

活版印刷発明史研究上へのその応用』と題するものであり、参考論文として『粘葉考』その他を添えている。提出時は、昭和29年9月と推定されるが審査終了時点は同31年3月である。審査報告書には、大正13年刊の『図書学概論』以来の研究が他に類を見ざる貴重な知識の成果を得たと講評している。その門下には、武田虎之助、伊木武雄の両俊才がいる。

文学博士となって僅か2カ年、昭和33年8月27日にその生涯を閉じた。時に満78歳である。

参考文献：履歴書、学位申請論文審査報告書、田中顧問の長逝を悼む（武田虎之助氏図書館雑誌第52巻12号）田中先生を憶う（伊木武雄氏同上）沢柳政太郎の人と業績（滑川道夫、中内敏夫両氏）その他。尚、関野真吉氏の教示を得た。

投書箱から

1) 会計学に関する総合的な辞典や、全集は多いのだが、初心者向きの基本書が全くない。朝霞分館には、もっとたくさんあった。商業学、経営学の本はあるが、会計学の本が少ない。

（その他類似の投書1件）

係より：投書の主旨からすると参考・雑誌室閉架書庫を利用しているようには見受けられる。閉架されている図書はほんの一部で大部分の図書、雑誌は閉架書庫に保管されております。閉架書庫の図書を利用する場合は辞書体目録と分類目録を利用して請求票でもって利用してもらうことになっています。図書館でカード目録による図書の探し方は「東洋大学図書館ニュース」Vol. 13, No. 1 (1978. 4. 15) を参考にして下さい。図書の収集に関しては図書館でも鋭意努力しているが、是非備付けてほしい図書がありましたらカウンターに申し出て下さい。

2) 大学院閲覧室で勉強していると隣りの資料室からカチカチ機械の音が聞えて勉強の妨害になった。

係より：大学院生閲覧室の隣りは教員閲覧室になっており、カチカチ音の出る機械は置いていない。現に教員の方もこの閲覧室を利用しているの

で、そんな音の出る機械を置ける筈もない。あなたのいわれるのは、おそらくその時、教員閲覧室に置いてあるマイクロリーダ・プリンターが故障しており、その故障修理をする音ではないかと推察します。でも、その音のために勉学の妨害になったことに対してはお詫びいたします。今後そのようなことのないように充分注意いたします。図書館利用中に、利用者の迷惑となるような行為がありましたらすぐにカウンターの方に連絡して下さい。図書館側で適切な処置をいたします。

3) 三階の喫煙所に時計を置いて下さい。

係より：昭和46年9月に新館を開館した当時は、第1—第5閲覧室、参考・雑誌室、3階休憩コーナーにそれぞれ時計を備付けていたが、開館して2〜3年目にして、参考・雑誌室を除いて紛失してしまいました。そのようなことのないよう図書館側でも、利用者の迷惑のないように巡回はしているが、これも限度があります。このような件に関しては、利用者の協力がなくなかなか防止できません。3階休憩コーナーに時計を備付ける方向で検討中です。

4) 図書館の昼休みを撤廃して下さい。休みをとるなどはないが、交替制にするとか、いろいろ方策はあると思うが。

係より：この件に関しては次号に掲載します。

~~~~~

さる5月23日、図書館利用のガイダンスで多くのアンケートが寄せられました。これらを参考にさらによりよいものにしていきたくと思います  
アンケートより

◎スライドを見て資料の検索方法が良くわかった。今までは調べ方がわからず、うやむやでいきらめる事が多かった。

◎一通りのことはわかったが、項目別、例えば卒論準備をする人を対象にするなど細かい方がいい。国会図書館の使い方専門書の能率的な深し方など教えてほしい。でも参加してよかった。

◎分類目録、辞書体目録のカードを説明する場合には、スライドよりも大きめの紙に書いた方がいい。

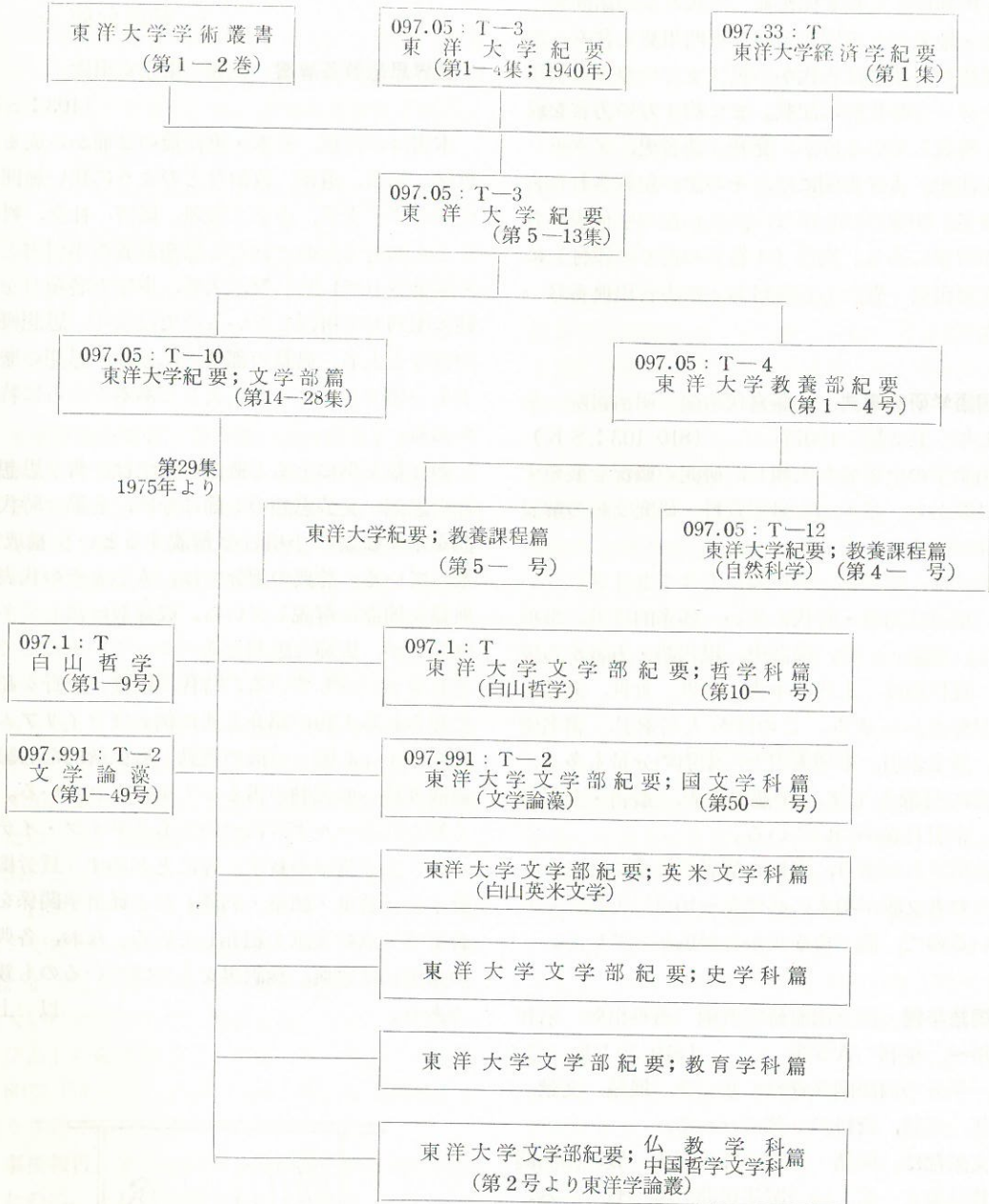
## 東洋大学紀要の誌名変更について

下記の図は、東洋大学から発行される紀要類のうち、誌名変更のあったものについてその変遷を図式化したものです。詳しくは、参考雑誌室の雑誌目録カードをご覧ください。

す。また、それぞれのバックナンバーをご覧になりたい方はカウンターに請求して下さい。(分類番号のないものは、未整理雑誌で、目録カードはありません。)

なお、最新号は雑誌コーナーに展示されています。

(1978年6月1日現在)



(整理課)

## 参考図書解題

### 一 本 館 一

**日本国語大事典** 全20巻 日本大辞典刊行会編  
小学館 昭和47～51年 A4版 (813.1:N-2)  
発刊の辞にいわく“日本文化の歴史をとらえ、  
日本民族のこころを伝える”大規模な国語辞典、  
人名・地名などの固有名詞や専門用語も含み、50  
音順排列。語義は古代から現代までの豊富な引用  
例を伴って時代順に記載。また約4万の方言を取  
録、解説しているほか、発音、語音史、アクセント  
を注記。古辞書欄には、その語が記載された古  
辞書名。50音のひらがな、かたかなの字体表が各  
音の冒頭にある。別冊(1巻目の終りに添付)に  
は主要出典一覧、方言資料および方言出典番号一  
覧など。

**国語学研究事典** 佐藤喜代治編 明治書院 昭  
和52年 B5版 1007頁 (810.103:S K)

国語学の全領域を大観し、研究の概況を展望す  
る必要から、基本的な研究資料・研究文献の解説  
紹介を中心としている。

構成は、事項編と資料編に大きく2分されてい  
て、項目は内容・時代に従い、体系的排列。事項  
編は、理論・一般、国語史、現代語・方言から成  
り、資料編は、上代、中古、中世、近世、近代、  
中国辞書から成る。このほか人名索引、書名索  
引、語彙索引、事項索引と、索引の分量も多く、  
最後に付録として、国語史年表、叢書・全集目  
録、索引目録がついている。

採用された項目、資料の解説が簡潔になされた  
あと参考文献が項末に必ず3～10点以上掲げられ  
ているので、調べる手がかりが広がっていく。

**国語年鑑** 国立国語研究所編 秀英出版 昭和  
29年～年刊 A5版 (810.59:K-3)

一年分の国語関係資料に基づき、展望、文献、  
雑報、名簿、資料の5部に分れる。

文献部は、国語・国文学関係図書一覧、国語関  
係雑誌論文一覧、国語関係新聞記事一覧である。  
また、採録図書や雑誌の発行所一覧がついている

が、文献を正確に探すには見ておく必要がある。  
このほか各学会・関係諸団体一覧、受賞一覧、学  
術団体・審議会等における関係者氏名などが雑報  
として記載されている。また国語関係者名簿から  
住所や専門、主な著書などがわかり、最後に資料  
と刊行図書・雑誌論文・新聞記事編著者名の索引  
がある。

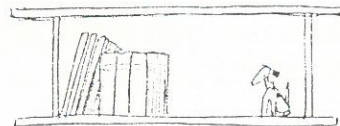
### 一 朝霞分館 一

**世界思想教養辞書** 2巻 東京堂出版

(103:S)

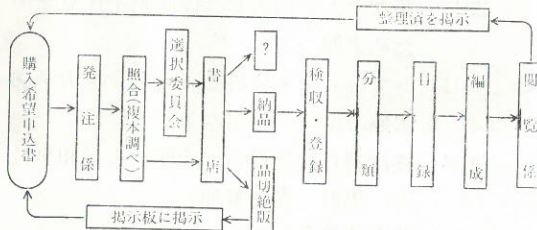
本書は西洋篇、日本・東洋篇の2冊から成る。  
哲学、宗教、道徳、政治などのように狭い範囲に  
区切らず、文学、史学、倫理、経済、社会、科学  
なども加えて全般にわたる思想教養の手引書とし  
て編纂されている。又、人物、事項と各項目を単  
純に配列して解説しているのではなく、思想概説  
の部分と人名、典籍の部分とに分け、思想の歴史  
をも一望できるように工夫してあるところに特色  
がある。

西洋篇を例にとると概説の部では、哲学思想、  
社会思想、文芸思想の3節に分け、各節は時代思  
想を示す独立の小項目を解説するという構成にな  
っている。辞典の部分では、人名とその代表的  
典籍を簡潔に解説している。収録数は決して多く  
はないが、広範な思想をあつかっていることで、  
それをカバーしている。時代、民族、分野を超え  
て知られる人物の紹介と共に例えばウィリアム・  
ハーベイ「心臓と血液の運動」も伝統的な心臓・  
血液理論への批判の書として集録されている。よ  
く知られるマルクスについても「ドイツ・イデオ  
ロギー」、「哲学の貧困」等にとどめず「賃労働と  
資本」、「賃金・価格・利潤」など経済学関係をも  
合せて7点の文献を紹介している。なお、各典籍  
の末尾には原典、翻訳書をもつけているのも親切  
である。 以上



## 学生購入希望図書は何故早く入らないのですか！

図書館には学生の皆さんの自主的な学習と研究を保障するため「学生購入希望図書」を受けつけています。しかしこの制度を利用し購入申込みをしたのに、いつまでたっても本が入ってこない、いったいどうなっているのか！など不満の声がカウンターによせられます。それぞれの係では、なるべく早く申込者がみられるようにと努力、改善していますので、その事情とあわせて図書館の業務を理解して下さい。購入希望申込書は下図のようなルートを経て処理されます。



希望図書は娯楽、実用書、教科書等をのぞいて原則として購入されますが、雑誌のように長期に予算をとまなうもの、また、高価なものは図書選択委員会で購入が決定されます。上記経過の中で第一の問題は、図書を書店に注文した際、書店か

ら本がいつまでも納品されない場合です。係の話では一般的に新刊書は比較的早く納品されますが、新刊書でも出版社ちがいなどの事故があった場合また、品切・絶版や古書、叢書の一冊などは、入手できないことが多いです。洋書は国内の取次店に在庫のない場合、海外に発注しますので最低三ヶ月かかると思って下さい。しかし取次店にもよりますので最近は早く納品する書店に学生購入希望のものは発注するようにしました。

第2の問題は図書が受入れられたのち、整理作業に廻されますがその際目録のカード印刷は外部で作るため、和書二週間、洋書一週間その他の業務に計二日間かかります。

学生購入希望図書が納品されると、係では整理伝票の至急印の赤ペラを使い一般の図書の取扱いと別にするなど努力しています。また今年から受付けた係が一定期間（原則として一ヶ月）経過しても入ってこないものについて調査することになりました。購入希望図書がなかなか入ってこない場合係にどうなっているのか尋ねて下さい。係では調査の上御返事します。（編集部）

### 朝霞からの手紙

みなさん、「びあ」って知ってますか？ ナウなヤングなら当然知ってますよね。話は古くなりますが、あの「びあ」に何と朝霞分館の記事が載ったのです。状況説明を致しましょう。

あれは去年の暮れのこと。雑誌の「法学セミナー」11月号と「文芸春秋デラックス」12月号が相次いで紛失→怒りの雑誌係は、返してくれと哀願。とうとう掲示を出す→掲示を読んだ一学生（大いに感激して？）掲示文を「びあ」に投稿→「びあ」の編集者もどこが気に入ったのか1月号p.80の「はみだしyouとpia」に一挙大掲載。というささやかなお話です。

事後報告。あんなに大々的に首都圏全域に宣伝したのに、とうとう両方ともノーリターン。「ちょっと借り」した学生さん、今からでも遅くな

い。無駄な抵抗はやめて、今すぐ本を返して下さい。

### 「あなたは何枚め？」

図書館の帯出カードに赤でNo.2とかNo.3とか書いてあるのを見た事がありますか。これは1年間に発行したカード枚数です。

昨年のトップは、修士の1年生と応用社会2年の2人、実に発行する事6回。ナントNo.6であります。カード1枚で27冊貸出できるのですから、単純計算すると、1年間で135冊以上。2～3日に1冊の割合。もちろんこれは図書館の本に限っての事です。年間の読書量は……。すごいすね。ちなみに、2枚めの方は222人、3枚めは25人、4枚めは3人。（2枚めの多いのは洋大の特徴かな？）

さて、あなたは何枚め？

（白山）

## 工学部分館だより

工学部分館ではこの4月から洋書の受け入れ業務を電算機にて処理することになりました。合理化への一つの試みです。幸いにも電算室が近いのでその担当者佐藤直樹氏にプログラム及びコンピュータ処理を全面的にお願いしました。図書館としては原簿に記入するための必要事項をカードにパンチする仕事を引き受けました。

受け入れ係は今やキーパンチャーに早がわりして、キーをたたいています。パンチ機械は電算室用のものを一台図書館事務室に置かしてもらっています。

失敗、また失敗、あっ、またカードをだめにした。こんなことを繰り返しながら、それでも仕事は順調にすすみました。4月の終りには電算機がみるみるうちに、洋書原簿をたたき出しました。そして仕事にも、今ではいくらかの自信ができてきました。

電算化といってもこれはまだほんの出発にすぎません。新しい仕事をこなすには新しい考え方、そして新しい努力が必要です。今やっと始まったばかりのこの試みが着実に成長して、いつか大きなものになることを望む次第です。(中村)

## 日 誌 (53年3月28日～6月7日)

- 3月28日 私立短期大学図書館協議会講演会(於日本図書館協会, 日野, 丹野参加)
- 30日 工学部分館連絡会
- 4月1日 文学部飯島崇享教授, 館長に就任
- 17日 経済学部犬田章教授, 朝霞分館長に就任
- 19日 館内連絡会  
研修分科会(於東京文化会館, 岩田, 神林, 飯山参加)
- 21日 本館運営委員会  
理工学分科会(於千葉工業大学, 伊藤[美]参加)

- 28日 分類分科会(於独協大学図書館, 日野参加)
- 5月10日 工学部分館運営委員会
- 17日 研修分科会(於東京文化会館, 岩田, 神林, 飯山, 平出参加)
- 19日 文部省主催図書館, 情報科学分野の講演会(於東京医科歯科大学, 山内, 小島, 鹿島参加)  
理工学分科会(於東京電機大学鳩山校舎, 伊藤[美]参加)
- 20日 書誌学分科会(於本学図書館, 山内, 村田参加)
- 23日 藤女子大学図書館, 佐藤昭子氏見学のため来館
- 24日 レファレンス分科会(於国学院大学図書館, 生野, 河田参加)
- 26日 逐次刊行物分科会(於明治大学和泉校舎, 黒沢, 寺島参加)
- 30日 館内連絡会  
目録分科会(於日本図書館協会, 丸山参加)
- 31日 本館選択委員会
- 6月7日 本館緊急選択委員会

訂正 前号(Vol. 13, No. 1)の記事を次のように訂正いたします。

| 訂正箇所          | 誤    | 正     |
|---------------|------|-------|
| P.1 目次3行目右端   | 1    | 2     |
| P.4 最後の行      | ついそは | ついては  |
| P.5 左側上から2行目  | 講入中止 | 購入中止  |
| P.5 右側下から5行目  | 認めば  | 認めれば  |
| P.7 左側上から21行目 | 展示さて | 展示されて |

### 編集後記

今号より、編集委員が変わりました。KOSUMOSUMがより多くの方々に読まれることを願って、皆はりきっておりますので、よろしく願いいたします。(藤井・井田・岩田・久保田・生野・内田)